

Weekly Bulletin 2013-2014



RI会長
ロンD.バートン



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

静岡東ロータリークラブ

会長/高柳正雄 幹事/高田雅司

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週(木曜日)12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
高柳正雄



第 2634 回例会

平成 25 年 9 月 5 日 天候 雨のち晴

- 《司 会》 高田雅司 君
- 《合 唱》 「君が代」
「奉仕の理想」
- 《BGM》 ロータリーソング
「日も風も星も」
- 《ゲスト》 なし
- 《ビジター》 藤原敏治 君(京都洛中RC)
芹澤正明 君(御殿場RC)

《本日のお祝い》

お誕生日

9月 6日 丹羽 亨 君
9月 11日 多賀 洋 君

結婚記念日

該当者なし

《会長挨拶要旨》



今月は新世代のための月間です。1996-97年度から、従来の「青少年活動月間」の名称が変わり、「新世代のための月間」となりました。年齢

30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に焦点を当てる月間です。

クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

当クラブでは、新世代のための月間に先立ち、8月22日に新世代クラブフォーラムを開催させていただきました。

若い世代への支援ということでは、先日の日本経済新聞のスポーツ欄、豊田泰光氏のコラムに面白い記述がありました。氏は若い選手への機会付与にかかる先

達の心得として、概ねこんなことを書いています。「風が吹いたら、たとえヒヨコであっても飛び立たせればよい。一生懸命あがいているうちに必要な骨も筋肉も付いてくる。骨が付いてから、肉が付いてからと言っていたら、一生飛び立たせることなんかできない。」

考えさせられることの多い言葉です。氏はプレーヤーとしても一流でしたが、その文才も中々のもので毎回ハツと気づかされることがあります。

氏は、若い世代を支援する立場の我々世代にも辛らつな言葉を贈っています。一年ほど前の記事ですが「いま自分が何歳かを知らなかったら、君は自分のことを何歳と思うか」と、ある大リーガーの言葉を紹介しています。これは我々世代が年齢と地位に胡坐をかき、身だけでなく心まで老いていくことへの戒めだと私は受け止めました。

新世代奉仕というのは、若い世代への問いかけではなく、まさに我々世代への戒めなのだと思います。哲学者マルティン・ブーバーの有名な言葉に「人は始めることさえ忘れなければ、いつまでも若くある」というのがあります。「新世代のための月間」を機会に、我々自身の「stay young」を考えてみたいものです。

《会員卓話》

「初恋～二人のアーティスト～」

河野雅一 君



竹中工務店の河野です。今日は皆さん昔にタイムスリップして頂いて、初恋の曲を2曲味わって頂こうと思います。『会いたい』と『あの頃にとどけ』という曲です。共に歌っているのは女性歌手ですが、曲を提供したのは、財津和夫さん(チューリップ)と小田和正さん(オフコース)です。

ご存知ない方のために、最初に小田さんと財津さんの二人のアーティストを紹介したいと思います。

まず小田さんの代表曲『たしかなこと』をご紹介します。この曲は小山さんの会社の明治安田生命のCMに使われております。

小田さんは昭和22年生まれで現在65歳。横浜にある中高一貫の聖光学院在学中に友人と作ったバンドがオフコースです。その後、東北大学建築学科に入学したのですが、建築より音楽に傾倒していき、プロデビューを果たします。小田さんと共に聖光学院から東北大学に進学し、オフコースの初代メンバーだった者がその後竹中工務店に入社します。竹中工務店に入った彼は東京本社で設計部に在籍し、横浜の日産本社ビルや銀座エルメス、南青山にあるプラダなどのビルの設計を手掛けました。幾度か日本建設学会賞を受賞しており、設計者として名を馳せました。彼が二人の母校である聖光学院の新校舎建設のプロジェクトマネージャーを務め、出来上がったホールで小田さんがピアノの弾き語りによるソニーの4Kテレビの新CMを作りました。デモテープを見せて貰いましたが、小田さんらしい心地よい曲でした。

次に財津さんの曲『青春の影』をご紹介します。これは私が大好きな財津さんがチューリップというバンドでやっていた時に作った曲です。40年前の曲ですが、40年前という感じがしない、色あせない曲だと思います。ずいぶん前に妻木木聡さん主演で『さよなら、クロ』という映画があり、その映画のエンディングに使われたのが『青春の影』でした。その映画監督の松岡錠司さんは『青春の影』を使った理由を“この『青春の影』という曲は時代と寝ていないから”と答えています。財津さんと小田さんの曲は何十年たっても色あせない“時代と寝ていない”曲だと思います。

財津和夫さんは昭和23年生まれで現在64歳。福岡の西南学院大学を中退し、音楽の道に入ります。小田さんとはアマチュアの大学時代にバンドコンテストで張り合うライバルで、プロデビュー後も、それぞれチューリップとオフコースのバンド・リーダーとして競り合うこととなります。

私は小学校の時にチューリップの音楽を聴いて衝撃を受けて以来、ずっと財津さんのファンでいます。就職したら財津さんと仕事がしたいとの思いで、名古屋支店在籍中に、ある大きなマンション工事を担当していた時に事件がありました。チューリップのアルバム(LPレコード)のジャケットにあったオブジェ等を無断コピーし、マンション内の公園にそのオブジェをあちこち設置してしまいました。その完成写真を意気揚々と名古屋の東海ラジオの怖い塩瀬プロデューサーに見せたところ、色々な問題を指摘され、すごく怒られました。塩瀬さんが財津さんに直接許可を取ってくれました。優しい塩瀬さんに感謝です。それがご縁？

で関係は続き、名古屋で財津さんの番組を作ったり一緒に野球を観に行ったり、静岡でもコンサート(静岡放送主催)に誘われたりする仲になりました。願っていれば、不思議で素敵な事があるものです。

それでは、財津さんと小田さんが作った初恋に関する曲がありますので、歌詞を紹介したいと思います。財津さんの『会いたい』と小田さんの『あの頃にとどけ』です。皆さん、昔のご自身の淡い恋を思い返しながら味わってみてください。

財津さんの『会いたい』は沢田知可子さんが歌っています。

小田さんの『あの頃にとどけ』は島倉千代子さんが歌っています。その中の詞をもう一回だけ読みます。

♪ ほんとうを言えば あなたのことが
ほかの誰より 好きだったのに
なにも言えない あなたの前じゃ
そんな子だったでしょ あの頃 ♪

あの頃に戻りたい、、、。

《職業奉仕グループからご案内》

竹内委員

職業奉仕グループ並びに親睦奉仕グループからのお知らせです。来る10月17日(木)職場見学会を行います。浅草での昼食をはさんで、日本銀行本店と警視庁を視察する予定です。奮ってご参加ください。

《スマイル報告》

河野 雅一 君 初めての経験で、上手くいきますかどうか？卓話の無事を祈ってスマイル致します。

新聞 桂子 君 高田さんはじめ、東クラブ会員さんのお力をお借りしてできた、弊社ビルが今週全フロアで稼働をはじめました。皆様のご協力に感謝するとともに、今後もお力添えをよろしくお願いいたします。

多賀 洋 君 誕生日のお祝い、ありがとうございます。今年で50才になりました。これからもヨロシクお願いします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
9/5	56(55)	44	11	-	-	-
8/29	56(53)	45	8	-	-	-
8/22	56(55)	43	12	4	8	85.45%